

第2回松田町地域公共交通会議 議事録

- 1 日 時 平成22年6月28日(月) 午前10時から11時20分
- 2 場 所 松田町役場4階AB会議室
- 3 出席者 委員：別紙「委員等名簿」のとおり (29名出席、欠席者なし)
事務局 企画財政課(小田課長代理、企画係長、鍵和田主査)
神奈川運輸支局3名

「配布資料」

- ・次第
- ・委員等名簿
- ・資料1 松田町地域公共交通会議設置要綱一部改正について
- ・資料2 松田町地域公共交通会議平成22年度予算(案)
- ・資料3 松田町地域公共交通総合連携計画策定に伴う町民アンケート(案)について
- ・参考資料1 第1回松田町地域公共交通会議議事録
- ・参考資料2 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定について
- ・参考資料3 松田町地域公共交通総合連携計画の策定に伴う入札について
- ・参考資料4 専決事項 松田町地域公共交通総合連携計画策定事業実施について
- ・参考資料5 松田町地域公共交通総合連携計画の策定及びデマンドバスの実証運行に関する覚書
- ・参考資料6 松田町地域公共交通活性化・再生総合事業の流れ

【概要】

司会進行(鈴木係長)

- 1 町長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ・会 長 松田町地域公共交通会議を開催する。会議の成立要件として、地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に基づき会議が成立することを報告。
 - ・事務局 配布資料の確認
 - ・事務局 議題1「松田町地域公共交通会議設置要綱一部改正について」説明。
 - ・会 長 事務局からの説明が終わりましたが、質問等があるか確認した。

- ・会 長 質問等がないので案のとおり承認した。
- ・事務局 議題2「松田町地域公共交通会議平成22年度予算(案)について」説明。
- ・会 長 事務局からの説明が終わりましたが、質問等があるか確認した。
- ・会 長 質問等がないので案のとおり承認した。
- ・事務局 議題3「松田町地域公共交通総合連携計画策定に伴う町民アンケート(案)について」説明。
- ・会 長 事務局からの説明が終わりましたが、質問等があるか確認した。
- ・委 員 資料3のアンケートには、3つのテーマがあるが詳しい内容をお願いしたい。
- ・事務局 補足説明。
- ・委 員 アンケート4つのテーマ中、前3つのテーマの内一つに答えればよいのか。
- ・事務局 全てのアンケートに答えていただきたいと考えている。どうしても答えたくないテーマについてはこの限りではない。
- ・委 員 全世帯に配布とあるが、神山地域の人が寄の事が分からないので、地域別に分けて行ったらどうか。また、自治会配布時期は。
- ・委 員 事務局の考え方のイメージについては、寄地域内の各バス停までのデマンドバスと学生が寄地域から湯の沢経由で、246号線を走らず蛇塚の交差点を通り、神山地域に行くイメージで整理している。このへんをアンケートに入れて進めるようお願いする。また、4ページのバス停まで500円についても皆さんで検討されたい。(安ければ安いほうがよいと考えるが)この金額については、アンケートに工夫されたい。
- ・委 員 寄と神山地域の方についてのアンケートであるが、設問の中には全町に関係するものもあり、例えば3ページ、自宅から診療所に行くこと……
この設問は、全町の方が対象になると思われる。なぜ神山と寄だけなのか、という事になりかねない。
- ・事務局 冒頭に、平成22年度事業の実験運行は、デマンドバス1台で運行する旨を記入します。また、このアンケートの対象地域については、先般申し上げた総合計画町民アンケート調査ニーズの多い地域であった事によるものである。この実験運行による評価、分析を踏まえ、また、国土交通省からのアドバイスをいただきながら、平成23年度以降の実証運行計画を策定することとなる。
- ・委 員 アンケート4ページの設問は、通学だけに限るのか、通勤の方は関

係ないのか。

利用料金が1回200円となっているが、4ページのバス停まで1回500円とする意味がわからない。利用料金が分かるようなアンケートとされたい。また、寄診療所などの場所指定があるが、管理センターに食事に行くなどの各施設までの送迎は考えているのか。

- ・事務局 基本的には、高齢者の医療・福祉という観点で診療所の送迎を考えている。管理センター等の施設送迎は、公共交通との連携、ネットワーク及び営業妨害等にもなりかねないため考えてはいない。

また、地域公共交通の基本理念に相反することになる。

- ・委員 デマンドバスは何台を考えているのか。
- ・事務局 デマンドバスについては、平成22年度の実験運行で1台を考えている。この実験運行による評価・分析・ニーズの把握により、平成23年度からの実証運行で1台にするか2台とするかを検討する。

- ・委員 デマンドバス1台でも2台でも運転手が必要であるが、松田に配置していて、寄まで来てくれといっても相当の時間がかかるが、そのへんはどう考えているのか。

- ・事務局 基本的には、寄地域内にデマンドバスを配置しておく。また、運転手については、地元で地理に詳しい方、また、地元の雇用促進からも寄の方を考えている。

- ・委員 分かりやすいアンケートにしたらどうか。例えば、あなたはこのデマンドバスをこうやったら利用しますか。また、いくらなら利用するかなどを・・・

- ・委員 平日、最寄りのバス停まで送りますが利用しますか。・・・・・・
いくらでしたら利用しますか。・・・・・・

もう一つは共通項目の中に、あなたの最寄りのバス停とバス停までの歩行時間とかが書いてあれば詳しいデータが出ると思う。利用料金は記載しないでいくらなら利用されるかなどを入れたらどうか。

- ・委員 寄全体で有効に活用していくことが大前提である。1年目については、利用者の負担を軽減する中で、利用を高めた方が良いのではないか。

- ・事務局 できるだけ利用してもらうのが基本であるため検討する。

- ・委員 役場の人間として、アンケートは必要と考えるが、イメージとして、例えば寄、あるいは神山から新松田を結ぶ路線バスとの関係から、営業していない時間帯の朝早い時間、夜遅い時間にデマンドバスを考えている。もう一つは、寄地域の路線バスとの結び付けと考えている。アンケートをする場合に時間的概念を入れないと、例えば実験段階では1台の車で田代向、管理センター、萱沼からなどどうい

う順路で行うのか。イメージとしては、バス停まで向かう場合に1台で回るのか、例えば萱沼の方をバス停に降ろして、今度新松田から乗ってきて萱沼で降りたとした場合に1台の車でどのように巡回するのか。いわゆる車で相当程度走らないと自分のところにこないという事である。外国に行くによく、最後の観光バスがありホテルごとに降ろしていくが、最後のバスだけで1時間近く乗っている方もいる。寄の場合、30分位かかることもある。こういう事も念頭に入れないと全部が全部、自宅から目の前のバス停までの往復だけの時間で処理されると思うと、イメージが違ってくる。このへんをどうアンケートに入れていくかが問題である。

- ・ 会 長 デマンドバスで、東京大学のシステムを使い電話で申し込むという方法もある。
このシステムの設計によってルート設計も行うことができる。ここではニーズを掘り起こし、これを基にルートや手法をみなさんと検討する事になる。
- ・ 委 員 資料3の通学の方とあるが、通勤の方はどうなのか。学生を対象にしたということですが、乗合バスというものは学生に限るということではない。運送の依頼があれば断れないのが現状である。
- ・ 委 員 私が知る限り登録をする事で利用が可能となる。登録した方の中にも学生以外の方がいれば朝、夜の時間帯に利用する事は可能となる。このアンケートについては、学生からのニーズを知るために実施するものである。
- ・ 委 員 寄地域の学生は何人いるか分からない。今年の高校1年生で15名ほど、高校生全体では50名位しかいない。また、バスの通学定期券補助制度を利用しているので、利用者は少ないと考える。
- ・ 事務局 このアンケートは、学生全員をひろうのではなく、必要とされる公共交通のない時間帯、空白地の学生、高齢者の方などを対象としている。学生のデマンドバスは、スクールバスではなく地域公共交通を基本としたバスのない時間帯に、利用したい方をどうひろっていくかという考えである。
基本は、地域の公共交通としての路線バスとの連携である。この運行がない、あるいは少ない時間帯を困っている方々のニーズを把握していく事が必要と考える。既存のタクシー・路線バスと連携し、地域の今後の実情に即した輸送サービスを実現するためのものである。
- ・ 事務局 参考資料について説明

- ・委員 前回の会議の時、「デマンドバスありきなのか」それ以外についても検討をしていただきたいという話があったが、今回事務局の方からは、限定という形になっているが、私の印象では路線バスを基本に、これを補完するような形と考えている。需要はあるとは思いますが数は少ないと考える。
寄地域ではやはり買物などで松田に出ていきたいが、駅前周辺が危ないため、また、買物をするところがないため他の町に行ってしまうと聞く。そういう事が、最後のページの設問のところに書く形になっているが、地域の高齢者の希望を拾いあげるような場が欲しい・・・・・・・・
- ・委員 基本的には、既存の交通事業者が走っているので、それと連携し、ネットワークを構築しながら進めていただきたい。いろいろなニーズで走らす事は必要であるが、既存の交通事業者等を留意して行っていただきたい。今回の方針で既存の富士急行が減回してしまうことは困るため留意願いたい。
- ・事務局 町の考えで仕切りを分けて協議していくことを考えている。
登録した方であること。
事前に、町の基本的考え方（交通空白地でバス停まで行くのに困難な方・路線バスのない時間帯で通学が困難な方等）を明示する。
- ・委員 資料6の実験運行とは、このアンケートに基づいて行うのか。
- ・事務局 そうです。お金はとらない方法を考えている。
- ・委員 アンケートで対価を決めて、利用料としてとる方法で検討した方がよい。
- ・委員 有償とすると許可が必要となるため、仮に8月に実験運行とした場合に申請から許可までに2ヵ月以上かかる。
- ・事務局 8月上旬から中旬に会議を開催し、ここで有償にするかを定める。
また、スケジュールも調整する。
アンケートは7月のコンサル決定後、本日の意見を踏まえて作成する。

その他

- ・神奈川運輸支局より交通に関する新たな法律等の動きについて説明
- ・副会長より閉会のあいさつ

平成 22 年 6 月 日

議事録署名人

印